

講義録レポート

講 座	証券アナリスト	科目①	証券投資理論入門
目標年	2016年合格目標	科目②	
コース	1 次 入門講座	回 数	1 回

収録日	2015 年 5 月 30 日		
講師名	鈴木 先生	講義録 枚数	9 枚 ※レポート 含まず
		補助資料 枚数	— 枚 (サイズ)

講義構成	講義（ 4 8 ）分 → 講義（ 3 4 ）分		
使用教材	①		
	②		
	③		
	④		
配布物	有 . 無		
	①		
	②		
	③		
正誤表	有 . 無	枚	
備考			

証券アナリスト		講義録	コース・講義等	'16 春 1次対策	科目	証券投資 理論入門	回数	
---------	--	-----	---------	---------------	----	--------------	----	--

配布物	★ テ ス ト 類 :	[	]	講師	鈴木	先生
	★ その他の配布物 1 :	[				
	★ その他の配布物 2 :	[				

黒 板 内 容

2016年目標 証券アナリスト 1次

証券投資理論入門

証券アナリスト	講義録	コース・講義等	'16 春 1次対策	科	証券投資	回	
				目	理論入門	数	

配布物	★ テ ス ト 類 :	[	]	講師	鈴木	先生
	★ その他の配布物 1 :	[				
	★ その他の配布物 2 :	[				

黒 板 内 容	
◎ 証券分析の出題分野	
1. 証券市場の機能と仕組み (15)	
2. ファンダメンタル分析 (30)	
各資産 ごとの 分析 (現在価値)	3. 株式 分析 (30)
	4. 債券 分析 (35)
	5. デリバティブ 分析 (30)
リスク と リターン	6. ポートフォリオ・マネジメント (40)

証券アナリスト

講義録

コース・講義等

'16春
1次対策

科目

証券投資
理論入門

回数

配布物

★テスト類： []
★その他の配布物1： []
★その他の配布物2： []

講師

鈴木

先生

黒板内容

☆リターンとリスク

$$\begin{aligned} \textcircled{\text{O}} \text{投資収益率} &= \frac{\text{収益}}{\text{投資額}} \\ &= \frac{\text{配当・クーポン} + \text{値上がり額}_{(下)}}{\text{投資額}} \end{aligned}$$

インカム・ゲイン

キャピタル・ゲイン
(ロス)

{ 安全資産 (無リスク資産) ... 将来の収益が確定
危険 " (リスク資産) ... 不確定

例) P.11

状態	不況	普通	好況
確率	0.25	0.50	0.25
証券Aの 収益率	-6%	8%	18%

証券アナリスト

講義録

コース・講義等

'16春
1次対策

科目

証券投資
理論入門

回数

配布物

★テスト類： []
★その他の配布物1： []
★その他の配布物2： []

講師

鈴木

先生

黒板内容

○ 平均したらいくらか？
(ならして見ると)

期待値

$$\text{期待値} = \left(\begin{array}{c} \text{各状態の} \\ \text{確率} \end{array} \times \text{実現値} \right) \text{の合計}$$

$$\begin{aligned} \text{証券Aの} \\ \text{期待収益率} &= 0.25 \times (-6\%) \\ &\quad + 0.5 \times 8\% \\ &\quad + 0.25 \times 18\% \\ &= 7\% \end{aligned}$$

証券アナリスト 講義録

コース・講義等

'16春
1次対策

科目

証券投資
理論入門

回数

配布物

★テスト類 : []
★その他の配布物1 : []
★その他の配布物2 : []

講師

鈴木

先生

黒板内容

。バラツキはどの程度か？ 分散 or 標準偏差

$$\text{分散} = \left\{ \begin{array}{l} \text{各状態の} \\ \text{確率} \end{array} \times (\text{実現値} - \text{期待値})^2 \right\} \text{の合計}$$

$$\begin{aligned} \text{証券Aの} \\ \text{分散} &= 0.25 \times (-6\% - 7\%)^2 \\ &\quad + 0.5 \times (8\% - 7\%)^2 \\ &\quad + 0.25 \times (18\% - 7\%)^2 \\ &= 73(\%^2) \end{aligned}$$

$$\text{標準偏差} = \sqrt{\text{分散}}$$

$$\begin{aligned} \text{証券Aの} \\ \text{標準偏差} &= \sqrt{73} \end{aligned}$$

証券アナリスト 講義録		コース・講義等	'16春 1次対策	科目	証券投資 理論入門	回数	
-------------	--	---------	--------------	----	--------------	----	--

配布物	★テスト類：	[	]	講師	鈴木先生
	★その他の配布物1：	[			
	★その他の配布物2：	[			

黒板内容	
リターン ... 期待値 リスク ... 分散 or 標準偏差 で測る	

証券アナリスト	講義録	コース・講義等	'16春 1次対策	科目	証券投資 理論入門	回数	
---------	-----	---------	--------------	----	--------------	----	--

配布物	★テスト類： [] ★その他の配布物1： [] ★その他の配布物2： []	講師	鈴木 先生
-----	--	----	-------

黒板内容

☆貨幣の時間価値…**現在価値**と将来価値

{ 単利 … 利息に利息はつかない
複利 … 利息に利息がつく

例) 元本 100万円、期間2年、利子率2%
(年1回複利)

当初 1年後 2年後

100万円 $\xrightarrow{\times (1+0.02)}$ 102万円 $\xrightarrow{\times (1+0.02)}$ 104.04万円

現在価値 $\xrightarrow{\times (1+利子率)}$ 1年後の将来価値 $\xrightarrow{\times (1+利子率)}$ 2年後の将来価値

~~~~~

⋮



# 証券アナリスト

## 講義録

コース・講義等

'16春  
1次対策

科目  
証券投資  
理論入門

回数

配布物

★テスト類： [ ]  
★その他の配布物1： [ ]  
★その他の配布物2： [ ]

講師

鈴木

先生

### 黒板内容

$$\text{現在価値} \times (1 + \text{利子率})^2 = \text{2年後の将来価値}$$

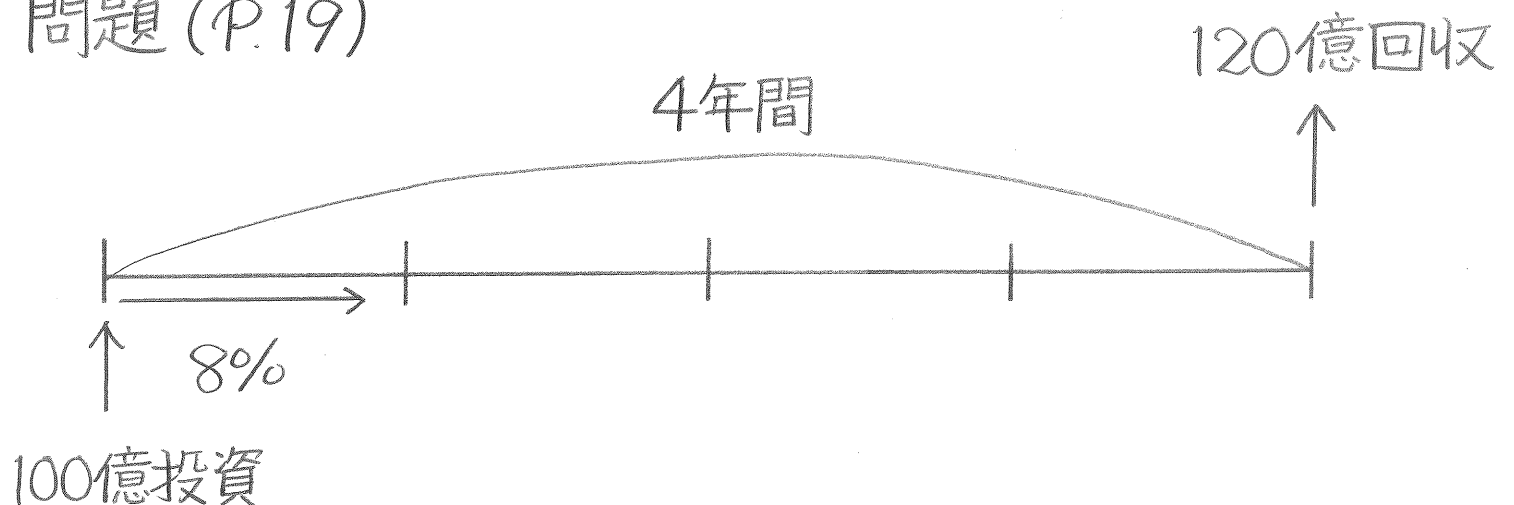


$$\text{現在価値} \times (1 + \text{利子率})^n = \text{n年後の将来価値}$$



$$\text{現在価値} = \frac{\text{n年後の将来価値}}{(1 + \text{割引率})^n}$$

問題 (P.19)



|         |     |         |              |    |              |    |  |
|---------|-----|---------|--------------|----|--------------|----|--|
| 証券アナリスト | 講義録 | コース・講義等 | '16春<br>1次対策 | 科目 | 証券投資<br>理論入門 | 回数 |  |
|---------|-----|---------|--------------|----|--------------|----|--|

|     |                                                   |    |    |    |
|-----|---------------------------------------------------|----|----|----|
| 配布物 | ★テスト類 : [ ]<br>★その他の配布物1 : [ ]<br>★その他の配布物2 : [ ] | 講師 | 鈴木 | 先生 |
|-----|---------------------------------------------------|----|----|----|

## 黒板内容

### ① 4年後の将来価値

$$100_{\text{億}} \times (1+0.08)^4 = 136.04 \dots (\text{億円})$$



120億(この事業)

### ② 現在価値を計算

$$\frac{120\text{億}}{(1+0.08)^4} = 88.20 (\text{億円})$$

∧ ⇒ 投資すべきではない

100億円(投資額)